

2022年2月14日

報道関係各位

一般社団法人日本少額短期保険協会
東京都中央区八丁堀三丁目12番8号
HF 八丁堀ビルディング2F
会長 渡邊 圭介

『孤独死対策サミット2022』大盛況のうちに閉幕！

一般社団法人日本少額短期保険協会（東京都中央区八丁堀 会長：渡邊 圭介）は、2022年2月4日に「孤独死対策サミット2022」を開催しました。今年で3回目となる開催ですが、過去最多となる400名近くの皆様にご参加いただき、あらためて孤独・孤立に対する関心の高さがうかがえました。

冒頭に、当協会の会長である渡邊圭介より、協会の孤独死に係る取り組みについて説明したのち、以下の4つのプログラムに沿って、サミットを進行しました。



<当日の様子>



<当日の様子>

1. 内閣官房 孤独・孤立対策担当室による『孤独・孤立対策に関する政府の取組』

2021年2月に内閣官房に設置された、孤独・孤立対策担当室の参事官 石川賢司様より、「孤独・孤立に関する政府の取組」についてご講演いただきました。

講演では、孤立・孤独は個人の問題ではなく社会全体で対応しなくてはならないとし、望まない孤独・孤立を防ぐためにも支援を求めやすい社会・切れ目ない相談支援といった予防の大切さや、政府の具体的な取組についてお話しいただきました。

2. 国土交通省住宅局による『残置物の処理等に関するモデル契約条項』

2つめのプログラムは、国土交通省住宅局 参事官 矢吹周平様より「残置物処理に関するモデル契約条項」についてご講演いただきました。

入居者が死亡した際の家財（残置物）の処理について、具体的なひな型の説明を交え解説いたしました。不動産オーナーや管理会社等の視聴いただいた皆様からは、具体的でわかりやすく説明いただいたという感想も多く寄せられております。

3. 日本少額短期保険協会『孤独死の現状と早期発見に向けて』

日本少額短期保険協会 事務局長 大槻正志より「孤独死の現状と早期発見に向けて」と題して、これまで5000人以上の孤独死データを分析した孤独死現状レポートの報告を行いました。レポートでは、若年層の自殺が多いこと、孤独死は高齢者だけの問題ではないことをデータに基づき説明したほか、孤独死の早期発見に向けての協会提案として「絆アプリ」のプレゼンも実施しました。「絆アプリ」はスマホを用いたアプリで、完全な孤独・孤立状態になる前段階における、潜在的な孤独・孤立を防止するために「家族間の絆を取り戻すきっかけ」として、こうしたアプリの有効性を提案。孤独・孤立の防止のためには民間企業や団体のみならず、国や自治体との連携が重要であると訴えました。

4. 早稲田大学 政治経済学術院『若者の自殺 孤独感と孤独死からの考察』

最後のプログラムは、早稲田大学生経済学術院 准教授 上田路子様より若者の自殺と孤独死についての研究結果を発表いただきました。コロナ禍における若者の自殺の現状や、高齢者よりも若い世代（40歳未満）の方が孤独感を感じている等、調査結果を交えて解説いただきました。

また、当日の様子を収めた動画はYouTubeからご覧いただけます。

3月31日までの限定公開になりますので、ぜひお早めにご視聴ください。

<動画>

<https://www.youtube.com/watch?v=Zqb82MIDcrU>

サミットで使用しました資料はコチラのURLからダウンロードすることができますので、動画とあわせて、ご覧ください。

<資料>

<https://www.shougakutanki.jp/general/summit/2022/document2.zip>

日本少額短期保険協会ではこの、孤独・孤立そして孤独死に対して、その実態・現状を周知し、幅広くこの問題について皆様と一緒に考えていくためにサミット開催しております。

今後も、孤独死について真剣に向き合い、未然防止につながる取り組みを進めてまいります。

本件に関するお問い合わせ
日本少額短期保険協会事務局 杉本・岡崎・杵渕
TEL:03-6222-4422/E-mail: info@shougakutanki.org